



夕刊  
九月十一日發行  
九月十一日發行

### 「お別れに際して」

……磐城文藝界の人達へ……

吉田 甫

「承前」——百姓の科学的るのだと思ふ。餘談を書き、唯論論的（勿論百姓自身無てゐると長くなるので本筋）意図的に「書」の批評とへ入ることにする。  
「た」と「ば」の猫の書は、私等詩人同人がかの「書」が片方短かいとか、ひげが明書に示した如く一本たらんとか、こんな「今や我々の周囲には歌人の批評をきかれない」「書家だつてやり切れない」「文藝的批評の批評」と云つちやにされては甚だ迷惑千ばんな話である。  
勿論私は、歌に對する智識の後に來る磐城歌壇大同諷は浅いから歌の歌學的表現の批評は出來ない。現に對する批評は出來ない。その約束を果し得なかつたひ込みない。然し、文藝人となつても、その歌の表現はどうかであつても、歌の持つ真實さと眞實にあらざるものと區別は判る。所謂歌の生命とも言ふべき本當の藝術の本質との差にあり。

もめるが、此處では發表の限りでないと思ふから控へる。  
お別れに際して、近き將來、華々しい磐城歌壇の出現を望んで止まない。  
甲氏も乙氏も丙氏も、個人的感情をすて、今やライオンズクラブして、ある磐城歌壇の團結を計り、聯合馬車にて沈没、十六名行方不明となる（昭和六）△新ドイツ國會召集されたが即日解散となる（同七）

### 歸り

安達 靖夫

肩のもち竿  
さして  
背  
長い短かい

潮來の灯またたきそめ  
し秋霞かな  
紫  
たのぼる秋かげらふ  
の日の中に、うすうす  
澄める雛頭の紅

太田 水穂

### 浪人長屋

日枝 武志作

（189）  
月草 道子 畫

「まの」  
とお嬢は、おはるめ、  
眞似をしたが、耳たぶの  
たりまで、まっ赤に染めて  
た。

「まの」  
お嬢は、おはるめ、  
眞似をしたが、耳たぶの  
たりまで、まっ赤に染めて  
た。

### 磐城歌壇推薦歌

加藤 純 弘

「旅の歌」  
○年毎にランプつる家増すといふ父の話は遠き  
捨てがたし  
○工場の娘より送る爲替高をはらに語る人  
哀なる  
○年々に衰へてゆくこの村に更生を叫ぶ人無き  
ものか（以上磯原町沐浴莊にて）  
○雨雲の底にうらう助川の港の堤波の越す見  
ゆ（助川驛附近所見）

### 九月題詠

「思ひ」 風（九月十六日）

めつてゐる中に知らず涙つた。つたは何んにも云  
がこみ上げて來た。男らしひ度くなかつた。——た  
くもいとは思つたが、を抱擁だけは、熱い接吻  
れは不可抗力だつた。今別は彼女に欲しい一つの  
れたら何時會へたらうか、でも悲しいかたみなる  
絶對に二人は——つたや、悲しいかたみなる  
んはつたや、悲しいかたみなる、こゝろで、こゝ  
かも知れやしない。こゝろでつたは、機のはとを眺  
祭の笛の音が、風の加減な考へが湖のやうに満ちて  
まてゐた。

### お別れに際して (續)

吉田 甫

お別れに際して、近き將來、華々しい磐城歌壇の出現を望んで止まない。  
甲氏も乙氏も丙氏も、個人的感情をすて、今やライオンズクラブして、ある磐城歌壇の團結を計り、聯合馬車にて沈没、十六名行方不明となる（昭和六）△新ドイツ國會召集されたが即日解散となる（同七）

### 社會の今日

（189）  
月草 道子 畫

「まの」  
とお嬢は、おはるめ、  
眞似をしたが、耳たぶの  
たりまで、まっ赤に染めて  
た。



「まの」  
とお嬢は、おはるめ、  
眞似をしたが、耳たぶの  
たりまで、まっ赤に染めて  
た。

お嬢は、何故か、お嬢の  
ところのいたは云はな  
かつた。  
お嬢にとっては、その方  
が都合なのである  
お嬢が、お嬢は馬  
お嬢が、お嬢は馬  
お嬢が、お嬢は馬

お嬢は、何故か、お嬢の  
ところのいたは云はな  
かつた。  
お嬢にとっては、その方  
が都合なのである  
お嬢が、お嬢は馬  
お嬢が、お嬢は馬  
お嬢が、お嬢は馬

お嬢は、何故か、お嬢の  
ところのいたは云はな  
かつた。  
お嬢にとっては、その方  
が都合なのである  
お嬢が、お嬢は馬  
お嬢が、お嬢は馬  
お嬢が、お嬢は馬

### 電話六四〇番

皆様のタクシーへ  
新車が入車致しました

電話六四〇番

### 高橋時計店

時計  
蓄音器  
レコード  
眼鏡類  
懐中電燈  
平町飯桶小路

### 安齋外科醫院

入院隨意（自費の便あり）  
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

### 上田醫院

入院隨意  
病室完備  
（電話二二九）

### 青腸胃病

皮膚科  
性病科  
門  
院醫科性胃腸科  
（番七〇一電町南町平）

### 吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番  
醫學士 吉田久雄

### 渡部外科

入院應需  
小兒科、内科、泌尿科、性病科  
醫學博士 渡部 義夫  
平町飯桶前（電話二七七）  
醫學士 渡部 幸子

### 郡山脳病院

精神科  
腦脊髄科  
神経科  
郡山外大槻村針生  
電話九二五番  
醫學士 金森 五郎

### 白馬の雪

辰の日本店  
平野村（電話二二八番）  
平町三丁目（電話四番）

### 阿部石炭商店

電話三七番

### お醤油は……ヤマフル

山崎合名會社  
電話（本）三〇番

### 磐城家庭婦人會

會員募集（入會金ト維持費）  
平町字田町五（元郵便局ウラ）  
電話三九九番（呼出）

### 郡山脳病院

精神科  
腦脊髄科  
神経科  
郡山外大槻村針生  
電話九二五番  
醫學士 金森 五郎

### 銘木建築木材御用命ハ

今一番勉強スル當店へ  
平町紺屋町  
余織田材木商店  
電話四六〇番

### 尼子タクシー

電話六四〇番

健康の秋

金風の高原に躍る

全郡下粒選りの若人

郡聯合青年團 主備第十一回 郡下青年團對抗体育(陸上) 競技、武術、相撲、大会は...

雨の際に屋内で

平町の満洲事變記念式

平町の満洲事變記念日催し 議事堂に於て開式する 是日各級各級一組出陣出場 行するが雨天の場合には学校...

九チームの争覇

磐陽野球前人氣旺ん

恒例磐陽野球大会秋季リーグ 戦は愈々近づく開演される 対平商職員野球試合は明後...

国防婦人会

十三日設立協議 平町では時局に鑑み国防婦 人会が主催する磐陽野球...

平小鐵促進陳情

内田鐵相に會見

十四日早朝平町の委員上京 過般極めて有望に展開し時 三十分分發で上京、金成...

小川江筋第二期工事

堀江工業の手で着手

平町堀江工業會社の手によ り第一期工事を完了した小川 江筋組合では此後第二期工...

境内の通行は 最小限度にし度い

縣社から學校に希望

縣社子館會社の境内を通り此程 關係學校當局に對し境 内通行の許可を必要の最小...

町内十二店聯合の 秋物新價即賣會

十四、五兩日平陽校で

平町呉服商組合では来る十四、 十五兩日の縣社飯野八の 町内十二店聯合の秋物新價...

内妻に裏切られ 悲憤の鐵道自殺

實直な煉瓦工場雇人

昨日午後九時頃赤井縣北 郡野内盆踊り場で平野新撰 方ガード附近に頭部全体紅...

客六名を乗せて 丈餘の崖下に轉落

昨磐陽地内で自動車事故

上遠野村根岸九丸自動車業 運轉手は左目下に皮下出血 六名を乗せた乗合自動車は...

四暴漢送検

今日中に收容

徳島縣那賀郡宮濱村の東 二十三年頃迄沼に行はれ 尾神社の祭壇には下の病氣...

夜の文化を彩る 光のネオンサイン

日東商會で設計製作

飾裝の完成によつて漸次近 代都市の形を呈へつゝあし 都市の形を呈へつゝあし...

乳母 三十歳前後

産後三ヶ月以内

身体健康のもの 但し住み込み、給料面談 富方警察社員 (高坂病院會田)

四倉通信

倉中町附近で得たの知れぬ

倉中町附近で得たの知れぬ 文化石像を專賣特許品とし て一個二十錢宛に行銷し...



新界の權威 クロードネオン 品質の秀麗、耐久力、豊富、就中設 備の完備が最重要件であります...

日東商會 クロードネオン代理店 電話 四二八

女給さん大募集 御相談に應ず 平驛前 コンパル 電話 六六六番

小兒科 柳病科 平町ねずみ坂 渡邊醫院 電話 一六一番

生花教授 池ノ坊 須藤まつ子の

須藤まつ子の

須藤まつ子の